

場の情報

市民活動などの支援として、場の提供を行っている公共施設等の情報を集めてみました。

かわさき市民活動センター

(財)かわさき市民活動センターでは、市民活動やボランティア活動を行っている人たちが、打合せ等ができる「会議室」や、関係図書が閲覧できる「図書コーナー」、パソコンを使って作業やインターネットができる「パソコンコーナー」、資料を印刷や製本作業ができる「印刷・作業コーナー」、市民団体が備品等を保管できる「貸しロッカー・レターケース」などがあります。また、打合せ等に利用できる無料のフリースペースも備えています。

URL <http://www.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/> TEL 044-430-5566 FAX 044-430-5577

区の市民活動拠点

各区役所にも、市民活動の支援のための会議スペース等(区によって名称が違います)があります。また資料等の作成のための印刷室もあります。利用できる方は、区内で非営利な活動をしている団体で、利用に際しては利用者登録が必要になります。(下表参照)

URL http://www.city.kawasaki.jp/25/25tiiki/home/kyoten/kyoten_top.html

各区の区民活動コーナー等の情報を一覧にまとめました。

		川崎区	幸区	中原区
名 称		市民活動コーナー	市民活動支援コーナー	幸市民協働プラザ
設置場所		教育文化会館1階 大師支所2階 田島支所3階	区役所1階 区役所プレハブ会議室	区民交流センター 「なかはらっぱ」
設 備	会議室	会議スペース 教文:18名 大師:12名 田島:12名	ミーティングスペース (10名程度)	会議スペース (最大24名) フリースペース(18名)
	備品等	①作業テーブル ②カタログスタンド ③レターケース ④ホワイトボード ⑤掲示板 ⑥ロッカー	①作業テーブル ②パンフレットラック ③情報掲示板	①作業テーブル ②ちらし展示台 ③情報掲示板 ④オープンロッカー ⑤参考図書 ⑥ホワイトボード
広さ(㎡)		教育文化会館 55 大師支所 18 田島支所 18	25	60
				会議室 30 フリースペース 24 印刷スペース 15

		高津区	宮前区	多摩区	麻生区
名 称		高津区市民活動支援ルーム	区民活動支援コーナー	多摩区民活動支援コーナー	麻生市民交流館やまゆり
設置場所		区役所4階 高津市民館11階 ブラザ橋1階	区役所1階	多摩区総合庁舎7階 薬事センター6階小会議室	麻生区上麻生1-11-5
設 備	会議室	区役所(18名程度) 市民館(8名程度) ブラザ橋(24名程度)	会議室(15名程度)	会議コーナー(18名) 薬事センター小会議室(10名)	会議室A 24名 会議室B 30名 会議室AB 54名 サロン
	備品等	①ホワイトボード ②パソコン(事務局専用) ③掲示板 ④作業テーブル ⑤チラシ展示台	①作業テーブル ②カタログ展示台 ③情報掲示板 ④レターケース ⑤ホワイトボード	会議コーナー ①会議テーブル ②会議椅子 ③ホワイトボード ④スクリーン ⑤レターケース 薬事センター小会議室 ①備え付けの机・イス	①作業テーブル ②レターケース ③情報掲示板 ④参考図書
広さ(m ²)		区役所会議室 26 区役所作業室 6 市民館打合せスペース 20 ブラザ橋打合せスペース 30	会議室 27 印刷スペース 28	会議コーナー・印刷・作業コーナー 31 薬事センター会議室 19	A会議室 32 B会議室 40 印刷室 12 サロン 80

こども文化センターをはじめ、既存の施設も活用しています。

こども文化センター

こども文化センターは児童館で、地域児童の健全育成のための施設ですが、市民活動支援の地域の拠点として市民活動団体等の打合せ等にも利用することができます。市内に59箇所(各中学校区に一つ)あり、各施設は印刷機を備え、団体の活動に必要な資料やチラシ等の作成に利用することができます。

ご利用になれる方は、非営利、非宗教及び非政治活動で、市内でボランティア活動をはじめとする社会貢献活動を行う団体です。利用を希望される時は、空き室状況を電話等でお問合せの上、直接来館しての申込が必要です

市内の市立小・中学校校庭、体育館等

川崎市内の小学校・中学校の校庭や体育館、特別教室は、学校教育に支障の無い範囲で、地域の団体のスポーツ・レクリエーションや生涯学習・市民活動等に利用することができます。利用については、各学校の学校施設開放運営委員会に団体登録・申込が必要です。

老人いこいの家

川崎市老人いこいの家を夜間・休日等に施設開放し、施設の有効活用を図る事業を実施しています。利用できる方は、10名以上で構成する市民活動を行う団体で、施設開放委員会が認める団体です。

他に市民館をはじめ市内にはさまざまな施設があり、会議室や研修室などを利用することができます。

会議室等を持つ市内の主な公共施設等

教育文化会館、市民館・市民館分館、市体育館、スポーツセンター、とどろきアリーナ、サンピアンかわさき(労働会館)、ふれあい館、川崎マリエン(港湾振興会館)、かわさき健康づくりセンター、身体障害者福祉会館、産業振興会館、ミュージア川崎シンフォニーホール、ラゾーナ川崎プラザソル、K²(ケイスクエア)タウンキャンパス、生涯学習プラザ、総合自治会館、会館とどろき、国際交流センター、総合福祉センター(エポックなかはら)、平和館、すくらむ21(男女共同参画センター)、てくのかわさき(生活文化会館)、川崎市民プラザ、大山街道ふるさと館、高津老人福祉・地域交流センター、青少年の家、有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)、ニヶ領せせらぎ館、ヨネッティー王禅寺、新百合21ホール、アートセンター、黒川青少年野外活動センター 等

また、下記の施設もあります。

(福)川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター

ボランティア・市民活動を行っている各種団体が利用できるボランティア交流室を貸出しています。URL <http://www.csw-kawasaki.or.jp/> TEL 044-739-8718 FAX 044-739-8739

また、区社協(福祉パル)でも会議や作業ができるスペースを貸出しています。

市内の公共施設の予約や情報については

○ふれあいネット(施設利用予約、生涯学習情報)

利用者端末による方法 区役所等市内47ヶ所に専用端末

電話(音声応答)による方法 TEL 044-753-5489

インターネットによる方法

パソコン 川崎市ホームページ URL <http://www.city.kawasaki.jp/> 「ふれあいネット」を選択

携帯電話 モバイル川崎 URL <http://www.city.kawasaki.jp/k/> 「ふれあいネット」を選択

○かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」(会議室等の情報)

<http://kawasaki.genki365.net/> 「会議室情報」を選択

○川崎市地図情報システム「ガイドマップかわさき」(施設の配置情報)

市ホームページ(<http://www.city.kawasaki.jp/>) 「ガイドマップかわさき」を選択

○冊子 かわさき生活ガイド(市民便利帳)

* ここに掲載している施設は、利用する施設や会議室等の種類によって、利用条件が異なります。

川崎市の現状

1 人口の推移

(単位:人)

年次	面積 (km ²)	人 口			性 比 (女性=100)	備 考
		総 数	男	女		
昭和 30 年	131.26	445,520	231,894	213,626	108.6	国勢調査人口 (10月1日)
35 年	132.93	632,975	334,490	298,485	112.1	//
40 年	136.17	854,866	451,537	403,329	112.0	//
45 年	136.17	973,486	511,073	462,413	110.5	//
50 年	141.24	1,014,951	532,890	482,061	110.5	//
55 年	142.16	1,040,802	543,269	497,533	109.2	//
60 年	142.63	1,088,624	569,061	519,563	109.5	//
平成 2 年	143.47	1,173,603	617,425	556,178	111.0	//
7 年	143.87	1,202,820	629,804	573,016	109.9	//
12 年	144.35	1,249,905	649,997	599,908	108.3	//
17 年	144.35	1,327,011	687,080	639,931	107.4	//
20 年	144.35	1,390,270	718,010	672,260	106.8	推計人口 (10月1日)
21 年	144.35	1,402,997	724,056	678,941	106.6	推計人口 (4月9日)

川崎市の人口は、大正 13 年の市制施行時は約 5 万人でしたが、昭和 15 年には 2 倍の 30 万人になりました。昭和 20 年 12 月の終戦直後には 20 万人まで減少しました。

高度経済成長期(昭和 30 年頃～40 年代中頃)に入ると年間数万人の勢いで増加し、政令指定都市に移行した翌年の昭和 48 年に 100 万人の大台に到達し、その後もゆるやかに増加を続けました。平成 17 年には全国の人口が戦後初めて減少に転じましたが、川崎市の人口は増加を続け、平成 21 年 4 月に 140 万人に到達しました。女性 100 人に対する男性数の割合は 106.8 となり男性が多いまちといえます。

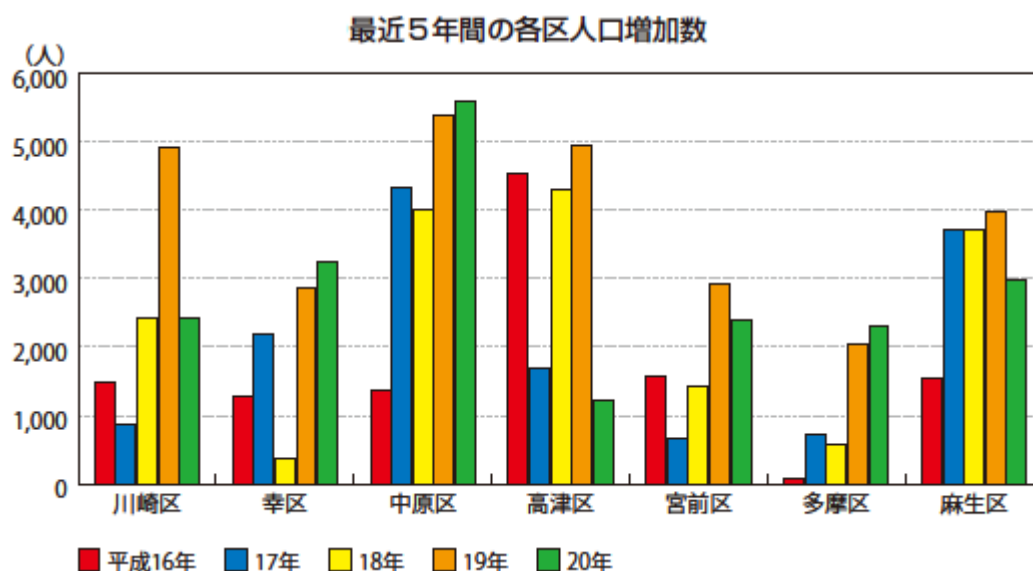
2 各区分人口

(単位:人) (平成21年4月1日)

区 別	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人 口			前年同月 人口	対前年同月 増減人口	人口密度 (人/km ²)
			総 数	男	女			
総 数	144.35	647,225	1,399,401	722,105	677,296	1,379,634	19,767	9,694
川崎区	40.25	104,182	215,100	115,764	99,336	212,150	2,950	5,344
幸 区	10.09	68,749	151,962	78,334	73,628	148,878	3,084	15,061
中原区	14.81	113,717	227,065	118,572	108,493	221,750	5,315	15,332
高津区	17.10	98,902	213,392	108,827	104,565	211,348	2,044	12,479
宮前区	18.60	90,049	215,394	108,398	106,996	213,557	1,837	11,580
多摩区	20.39	102,283	210,831	110,460	100,371	209,104	1,727	10,340
麻生区	23.11	69,343	165,657	81,750	83,907	162,847	2,810	7,168

川崎市の人口を行政区別にみると、中原区が22万7,065人(総数の16.2%)と最も多く、次いで宮前区が21万5,394人(同15.4%)、川崎区が21万5,100人(同15.4%)、高津区が21万3,392人(同15.2%)、多摩区が21万831人(同15.1%)の順となっており、この5区が20万人を超えています。

前年と比べるとすべての区で人口が増加していますが、増加数は中原区が5,315人と最も多く、次いで幸区3,084人、川崎区2,950人の順となっています。



平成16年以降の5年間で最も人口が増えたのは中原区で、2万人以上増加しています。この間、再開発事業が行われている武蔵小杉駅周辺などで、大型マンションが多く建設されています。

3 年齢別人口

(単位:人) (各年10月1日)

年齢階級別	平成20年			平成17年 総数	構成比 (%)		増加率 (%)
	総数	男	女		平成20年	平成17年	
総数 (歳)	1,390,270	718,010	672,260	1,327,011	100.0	100.0	4.8
0~4	65,352	33,449	31,903	62,139	4.7	4.7	5.2
5~9	60,344	30,657	29,687	58,256	4.3	4.4	3.6
10~14	57,130	29,447	27,683	53,869	4.1	4.1	6.1
15~19	58,584	30,326	28,258	59,776	4.2	4.5	▲ 2.0
20~24	95,710	51,873	43,837	94,107	6.9	7.1	1.7
25~29	115,142	62,621	52,521	117,306	8.3	8.8	▲ 1.8
30~34	131,521	70,496	61,025	136,788	9.5	10.3	▲ 3.9
35~39	135,467	71,739	63,728	122,505	9.7	9.2	10.6
40~44	113,907	61,874	52,033	99,045	8.2	7.5	15.0
45~49	88,937	47,906	41,031	78,162	6.4	5.9	13.8
50~54	74,837	39,477	35,360	79,931	5.4	6.0	▲ 6.4
55~59	89,007	46,460	42,547	92,635	6.4	7.0	▲ 3.9
60~64	80,904	41,235	39,669	77,457	5.8	5.8	4.5
65~69	71,088	35,081	36,007	63,621	5.1	4.8	11.7
70~74	57,195	26,933	30,262	52,143	4.1	3.9	9.7
75~79	42,745	19,007	23,738	36,981	3.1	2.8	15.6
80~84	27,811	11,414	16,397	22,571	2.0	1.7	23.2
85以上	23,730	7,165	16,565	18,860	1.7	1.4	25.8
(再掲)							
15歳未満	182,826	93,553	89,273	174,264	13.2	13.1	4.9
15~64歳	984,016	524,007	460,009	957,712	70.8	72.2	2.7
65歳以上	222,569	99,600	122,969	194,176	16.0	14.6	14.6

*総数には年齢不詳を含む。平成20年は推計人口、平成17年は国勢調査結果。

平成20年の川崎市の年齢(3区分)別人口は、15歳未満の年少人口が18万2,826人(総人口の13.2%)、15～64歳の生産年齢人口が98万4,016人(同70.8%)、65歳以上の老年人口は22万2,569人(同16.0%)となっており、老年人口が年少人口を上回っています。

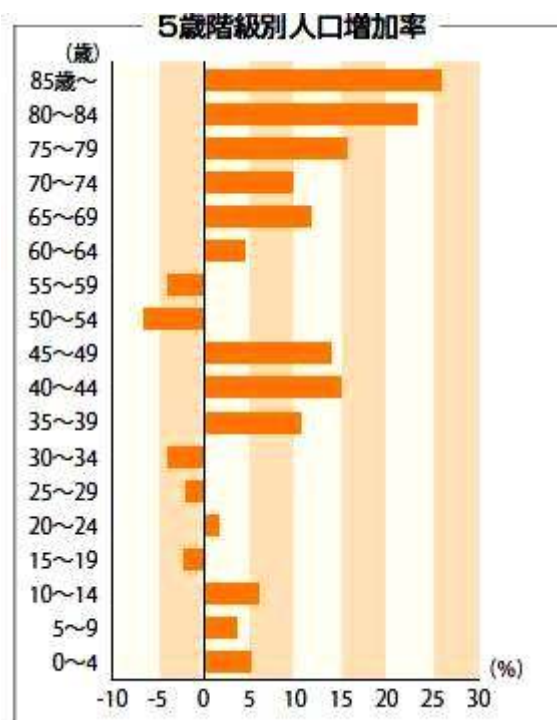
平成17年と比較すると、人口総数及び年齢3区分もそれぞれ増加しています。その中でも老年人口が最も増加しており、高齢化の傾向がみられます。

5歳階級別の増加率では、特に後期老年人口(75歳以上)が20.2%増加しています。

※ 全国平均(H20.10.1)

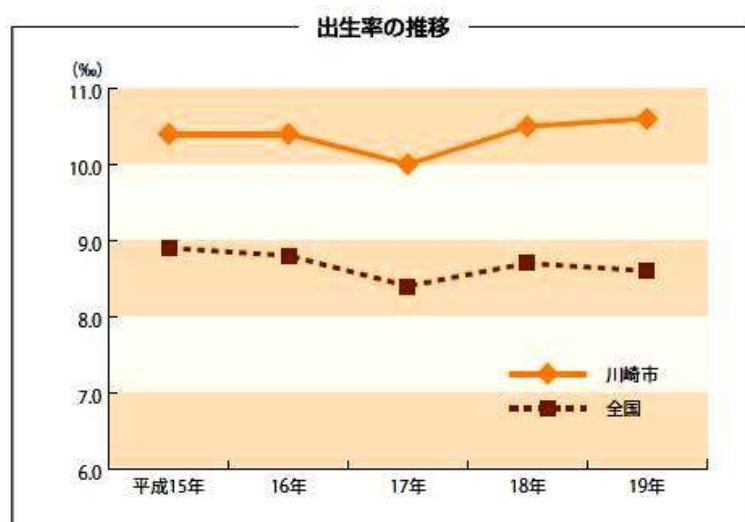
年少人口構成比 13.5%

老年人口構成比 22.1%



4 出生率

平成19年の人口動態調査では、出生数が1万4,051人と前年に比べて403人(3.0%)増加しており、出生率は10.6%と全国の8.6%を上回っています。



5 区別昼間流動人口

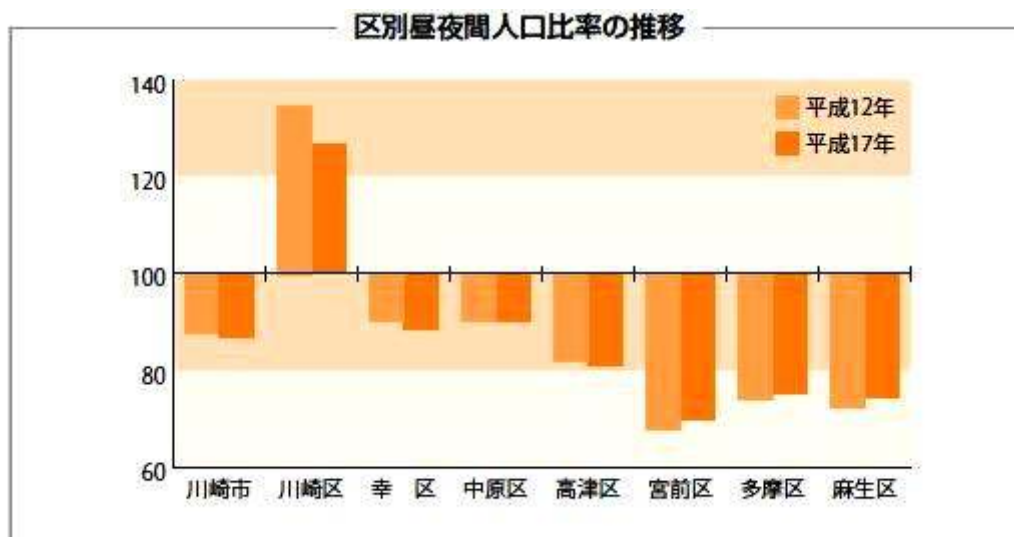
(単位:人) (平成17年10月1日)

区別	夜間人口 (常住人口)	流入人口	流出人口	流入 超過人口	昼間人口	平成17年 昼夜間人口比率	平成12年 昼夜間人口比率
川崎市	1,326,152	229,432	401,148	▲ 171,716	1,154,436	87.1	87.8
川崎区	208,256	104,371	50,106	▲ 54,265	257,521	126.7	134.7
幸区	144,362	40,150	56,257	▲ 16,107	128,255	88.8	90.3
中原区	210,506	64,443	84,577	▲ 20,134	190,372	90.4	90.1
高津区	201,754	44,194	82,407	▲ 38,213	163,541	81.1	82.2
宮前区	207,872	23,235	85,460	▲ 62,225	145,647	70.1	68.0
多摩区	205,305	31,215	81,619	▲ 50,404	154,901	75.4	74.0
麻生区	153,097	23,011	61,909	▲ 38,898	114,199	74.6	72.5

*年齢不詳を除く。

*川崎市の流入・流出人口は区間移動を除く。

(国勢調査)



平成17年の国勢調査結果をみると、川崎市の昼間人口は115万4,436人で夜間(常住)人口132万6,152人を17万1,716人下回っており、通勤や通学で市外へ流出する人が多いことがうかがえます。区別の流入、流出人口では、流入超過区は川崎区のみで、他の6区は流出超過区となっており、そのうち、最も流出超過人口が多いのは宮前区で6万2,225人となっています。

夜間(常住)人口100人当たりの昼間人口の割合をいう昼夜間人口比率は、川崎市全体では87.1となっており、区別にみると川崎区が126.7で、市内7区で唯一100を超えています。また、平成12年の国勢調査と比べると川崎区、幸区、高津区で昼夜間人口比率が低下し、中原区、宮前区、多摩区、麻生区で上昇しています。

6 労働力状態

(単位:人) (平成17年10月1日)

区別	夜間人口 (常住人口)	流入人口	流出人口	流入 超過人口	昼間人口	平成17年 昼夜間人口比率	平成12年 昼夜間人口比率
川崎市	1,326,152	229,432	401,148	▲171,716	1,154,436	87.1	87.8
川崎区	203,256	104,371	50,106	54,265	257,521	126.7	134.7
幸区	144,362	40,150	56,257	▲16,107	128,255	88.8	90.3
中原区	210,506	64,443	84,577	▲20,134	190,372	90.4	90.1
高津区	201,754	44,194	82,407	▲38,213	163,541	81.1	82.2
宮前区	207,872	23,235	85,460	▲62,225	145,647	70.1	68.0
多摩区	205,305	31,215	81,619	▲50,404	154,901	75.4	74.0
麻生区	153,097	23,011	61,909	▲38,898	114,199	74.6	72.5

*年齢不詳を除く。

*川崎市の流入・流出人口は区間移動を除く。

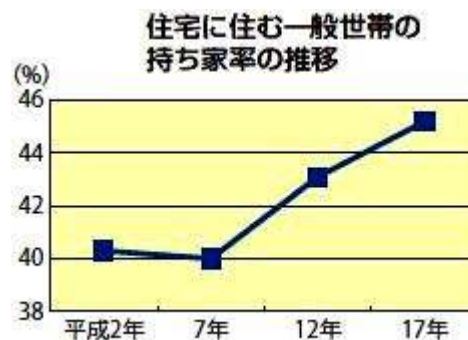
(国勢調査)

平成17年国勢調査での労働力人口は73万7,210人で、平成12年国勢調査と比べて5万3,553人(7.8%)増加しています。また、労働力率(労働力人口と非労働力人口を併せた人口に占める労働力人口の割合)は、17年は66.1%で、12年と比べて0.9ポイント上昇しました。

男女別にみると、労働力人口は男性、女性ともに12年と比べて増加していますが、労働力率は12年と比べて、男性は変わらず、女性が2.0ポイント上昇しました。

非労働力人口(家事従事者、通学者、高齢者など)は37万7,833人で、前回と比べ1万3,076人(3.6%)の増加となりました。

7 分譲住宅の推移等



着工新設住宅件数に占める分譲住宅数の割合や市民の持ち家率が増加していることから、川崎市に定住する人が増えていることが考えられます

8 町内会・自治会加入の推移

住民組織加入状況

本表は各年度4月1日現在の町内会、自治会等の住民組織への加入状況を表わしたものである。

年度・区別	団体数	総世帯数	団体に加入している世帯数	総世帯からみた加入率 (%)	1団体平均加入世帯	(再掲) 規模別団体数					
						1~100世帯	101~500世帯	501~1000世帯	1001~1500世帯	1501~2000世帯	2001世帯以上
平成16年度	631	582 124	410 792	70.6	651	138	200	167	76	22	28
17年度	639	590 512	416 509	70.5	652	139	202	174	71	23	30
18年度	642	600 012	420 890	70.1	656	141	203	174	71	23	30
19年度	643	616 458	426 437	69.2	663	140	203	167	76	26	31
20年度	645	633 924	432 891	68.3	671	137	203	170	76	26	33
21年度	647	647 225	434 328	67.1	671	138	204	174	71	27	33

9 小学校、中学校、高等学校、大学

・小学校 119校、中学校 57校、高等学校 25校、大学 9校